

Applied Spatial Information Science III: An Introduction to Community Security Checks Using “Kiki-Gaki Map”

#5: Basic Operations and Applications (2)

Yutaka HARADA
National Research Institute of Police Science

News!

- KGM will be installed on B405 PCs!



KGM Manuals (preliminary version)



『聞き書きマップ』 (バージョン3)

インストールマニュアル(暫定版)

科学警察研究所犯罪予防防研究室 特任研究官
原田 豊(著)



Delivered Last Week



『聞き書きマップ』と「3つの小道具」: 安全点検マップ作成ツール 使用マニュアル(暫定版)

科学警察研究所犯罪予防防研究室 特任研究官
原田 豊(著)



Delivered Today

Initial Settings for Using KGM (1)

- Open KGM control window
- Align control window to the left of KGM screen

See [install](#) manual, pp. 10-11.

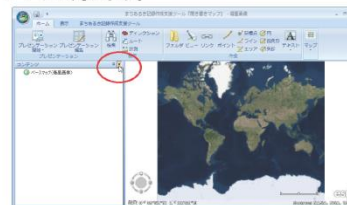
④『聞き書きマップ』を使うための 最初の設定

『聞き書きマップ』を使いやすくするための、画面の設定を行います。

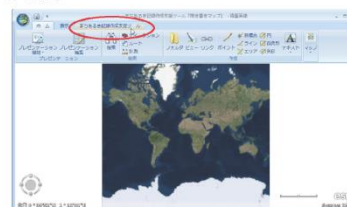
この設定は、『聞き書きマップ』を最初に使うときに、1度だけ行うものです。

4.1『聞き書きマップ』のコントロール画面を表示する

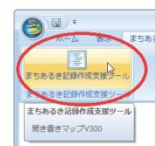
①『聞き書きマップ』を立ち上げ、「コンテンツ」ウィンドウの右上の図をクリックして、このウィンドウを閉じます。



②「まちあるき記録作成支援ツール」のタブを選びます。



③ リボン欄に出た「まちあるき記録作成支援ツール」ボタンをクリックします。

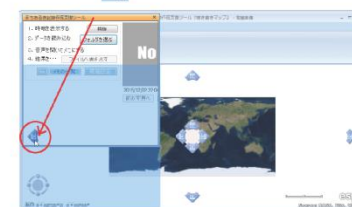


4.2コントロール画面の位置を整える

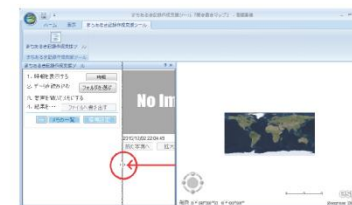
① これで、『聞き書きマップ』のコントロール画面が、フローティング・ウィンドウとして表示されるので、下図のように、その上辺にカーソルを合わせて・・・



② カーソルを左クリックしたままドラッグして、画面左隅の 印に合わせます。



③「まちあるき記録作成支援ツール」のコントロールウィンドウの右枠をドラッグして、ちょうどいい幅になるように調整します。



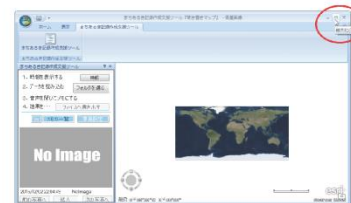
Initial Settings for Using KGM (2)

- Maximize (or set to appropriate size) KGM screen
- Minimize ribbon size, as needed
- Make sure the version number (v. 3.1.0.0)

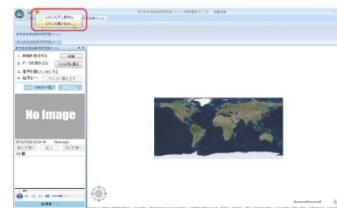
See [install](#) manual, pp. 10-11.

4.3 画面の大きさを調整する

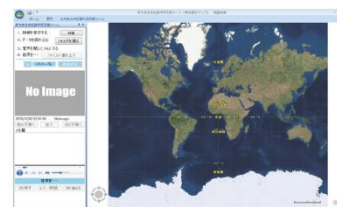
① 地図の画面がなるべく広く取れるように、『聞き書きマップ』のウィンドウを「最大化」します。



② パソコンの画面の広さが不十分でコントロールウィンドウの下部が表示できない場合は、「リボンの最小化」をしてください。



③ 画面表示がこのようになれば、『聞き書きマップ』の設定は完了です。



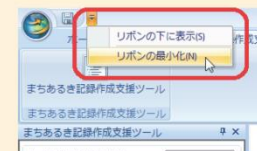
④ 念のため、今回インストールした『聞き書きマップ』のバージョン番号を確認しておきましょう。



このように、「バージョン: 3.1.0.0」となっていればOKです。

コツとヒント

このページの手順②の「リボンの最小化」は、とくに画面の広さが不足気味のノートパソコンなどで使うときに役立ちます。



これによって、音声を「3秒戻す」などのボタンが、無理なく画面内に収まるようになるからです。

Things to Do by the Previous Day

- Charge batteries
- Delete data in memories
- Set the clock of digital camera to the right time
 - ▶ NOT required (but advisable) in KGM version 3.
 - ▶ NO need for IC recorder

See **user's** manual, p. 3.

② 出発の前日までに行う準備

まちあるきに出かける前日までに、つぎのことを忘れずにやっておきましょう。

2.1 電池の交換／充電

せっかく、まちあるきの現場へ「3つの小道具」を持って行っても、まちあるきの最中に、どれか一つが「バッテリー切れ」になったら、たいへんです。とくに、最近のデジタルカメラやGPS受信機は、充電式の電池を使うものが多いので、まちあるきの当日になって「そうだ、充電しなくちゃ!」と気づいても、もう手遅れだったりします。

ですから、前日までに必ず、「3つの小道具」それぞれの充電（または電池の交換）を、すませておきましょう。

2.2 メモリーの残量の確認

まちあるきの最中に、「メモリーが一杯です。これ以上記録できません。」という表示が出てがっかりする、という失敗も、意外に多いものです。また、出発直前にメモリーの残量が心配になって、あわてて過去のデータを消去したりすると、パソコンなどにまだ保存していなかった大切なデータを、うっかり消してしまった! などということが起こりがちです。

ですから、メモリーの残量の確認も、なるべく前日までに行って、できれば、そのときメモリーに入っていたデータをすべてパソコンなどに取り込んだうえで、「3つの小道具」それぞれの「データをすべて消去」しておくのがお勧めです。

2.3 デジタルカメラの時刻合わせ

『聞き書きマップ』では、デジタルカメラの写真に記録された撮影時刻の情報を使って、「その

時刻にGPS受信機が記録した地点」を、写真の撮影地点だと判定します。携帯電話の時刻表示や、テレビの時報などを使って、デジタルカメラの年月日と時刻を合わせておいてください。

なお、『聞き書きマップ』のバージョン3から、デジタルカメラの時刻合わせを補正する機能が、新たに組み込まれました。ですから、前日までに行う時刻合わせは、1分1秒まで正確に行わなくても大丈夫です。

また、ICレコーダーについては、時刻合わせをしておく必要はありません。ICレコーダーによる録音の時刻合わせは、まちあるきを始めるときに、時刻合わせの目印になる言葉や音を録音することで行います。これについては、このあとで説明します。



コツとヒント

最近のデジタルカメラには、たいいてい写真をパソコンに取り込むプログラムが添付されていて、このプログラムに、デジタルカメラの時刻をパソコンと同期する機能があることも多くなっています。この機能を使ってカメラの時刻合わせをするのが、いちばん簡単で確実な方法です。

Things to Do before/during Town-walk

- Open the “Time Tone” window
 - ▶ Make sure the time is read aloud **in voice**, too.
- Start voice recording
- Shoot the “Time Tone” window with **DCAM**
- Turn ON **GPS receiver**
 - ▶ **After** getting out of building

See **user’s** manual, p. 4.

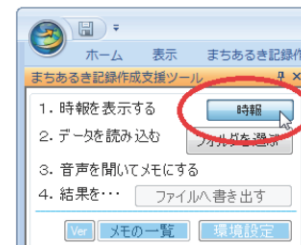
③ まちあるきの実施

3.1 まちあるきを始めるときに行う準備

バージョン3の『聞き書きマップ』では、デジタルカメラとICレコーダーの時刻合わせを確実にするため、まちあるきを始める前に、以下のことを行います。

①「時報読み上げ」画面を表示する

『聞き書きマップ』の「時報」ボタンをクリックして、「時報読み上げ」画面を表示します。
このとき、画面に表示された時刻が、音声でも読み上げられていることを確認します。



② ICレコーダーで録音を始める

時刻の読み上げ音声が鳴っている状態で、ICレコーダーの録音スイッチを入れ、録音を始めます。こうすることで、録音の一番初めに、時刻合わせのための音声が記録されます。

③ 時報読み上げ画面を、デジカメで撮影する

パソコンに表示された時報読み上げ画面を、まちあるきを持って行くデジカメで撮影します。これで、そのときの正しい時刻が、デジカメの画像として記録されます。

後で、この画像を使って、デジカメの内蔵時計の時刻の補正を行うのです。

④ GPS受信機のスイッチを入れる

建物の外に出て、空がなるべく広く見えるところで、GPS受信機のスイッチを入れます。

受信機がGPSの人工衛星からの電波を捉えるまで、数分程度かかるのがふつうです。電波が正しく受信できないうちに歩き出すと、GPSのデータが取れなくなることがあるので、注意が必要です。

電波が正しく受信できたら、GPS受信機が、ランプの色の変化や点滅など（表示のしかたは、機種によって異なります）で知らせてくれるので、それまで待ちます。

3.2 まちあるきの現場で行うこと

「シャッターを切って、つぶやく」

『聞き書きマップ』を使うために、まちあるきの現場で行うことは、唯一これだけです。

通常のまちあるきで、気づいたことを「メモ書

In the Field: Just Take a Picture and “Tweet”



Useful Tips:

- The **timing** of shooting pictures and voice-recording **need NOT** be perfectly **synchronized**.

コツとヒント

シャッターを切るタイミングと、声で「つぶやく」タイミングとが、多少ずれても、まったく心配ありません。『聞き書きマップ』には、「3秒戻す」「3秒進める」ボタンがあるので、写真の撮影時刻を中心に、その前後の録音を、ちょっとずつ前に戻したり後に進めたりしながら探し出したり、聞き漏らした内容を聴き直したりすることが、とても簡単にできるのです。

↑ See **user's** manual, p. 5.

コラム:ピンときたら、即シャッター

まちあるきの記録として大切な情報は、実は、自分以外の「周囲の」声や音のなかにもあります。

実際、まちあるきでは、思いがけないときに、いっしょに歩いている誰かが大切なことを話し始めるようなことも多いものです。そんなときは、すぐデジタルカメラのシャッターを押してしまいましょう。何も意味のあるものが写っていなくても、あとで、撮影時刻から、その話の「頭出し」をするのに役立ちます。「ピンときたら、即シャッター」です！

ただし、「盗撮」と誤解されることには、注意が必要かもしれません。念のためカメラを下に向けて、自分の足元あたりを撮るのが無難だと思います。



Things to Do after Coming Back from Town-walk

- Turn OFF GPS receiver!

- ▶ Make sure red/blue lamps flash alternately

- Turn OFF IC recorder!

- ▶ Make sure red lamp lights up and then goes out

See user's manual, p. 5.

きする」かわりに、同じことを声で「つぶやく」わけです。それを、デジカメのシャッターを切った直後に行うことで、写真の撮影時刻から、そのとき「つぶやいた」内容を、すぐに頭出しして「聞き書き」できるようになるのです。

コツとヒント

シャッターを切るタイミングと、声で「つぶやく」タイミングとが、多少ずれても、まったく心配ありません。『聞き書きマップ』には、「3秒戻す」「3秒進める」ボタンがあるので、写真の撮影時刻を中心に、その前後の録音を、ちょっとずつ前に戻したり後に進めたりしながら探し出したり、聞き漏らした内容を聴き直したりすることが、とても簡単にできるのです。

3.3 まちあるきから戻ったときに 行うこと

① GPS受信機のスイッチを切る

② ICレコーダーのスイッチを切る

当たり前のようですが、意外に「うっかり」忘れることもあるものです。確実にスイッチを切り、電源ランプが消えたのを確認しましょう！



③ データを読み込む準備をする

① GPS 受信機、② IC レコーダー、③ デジカメ

のメモリーを接続装置に差し込み、USB ケーブルでパソコンに接続します。



4 『聞き書きマップ』を起動する

パソコンのデスクトップ画面にある『聞き書きマップ』のアイコンをダブルクリックして、『聞き書きマップ』を起動します。

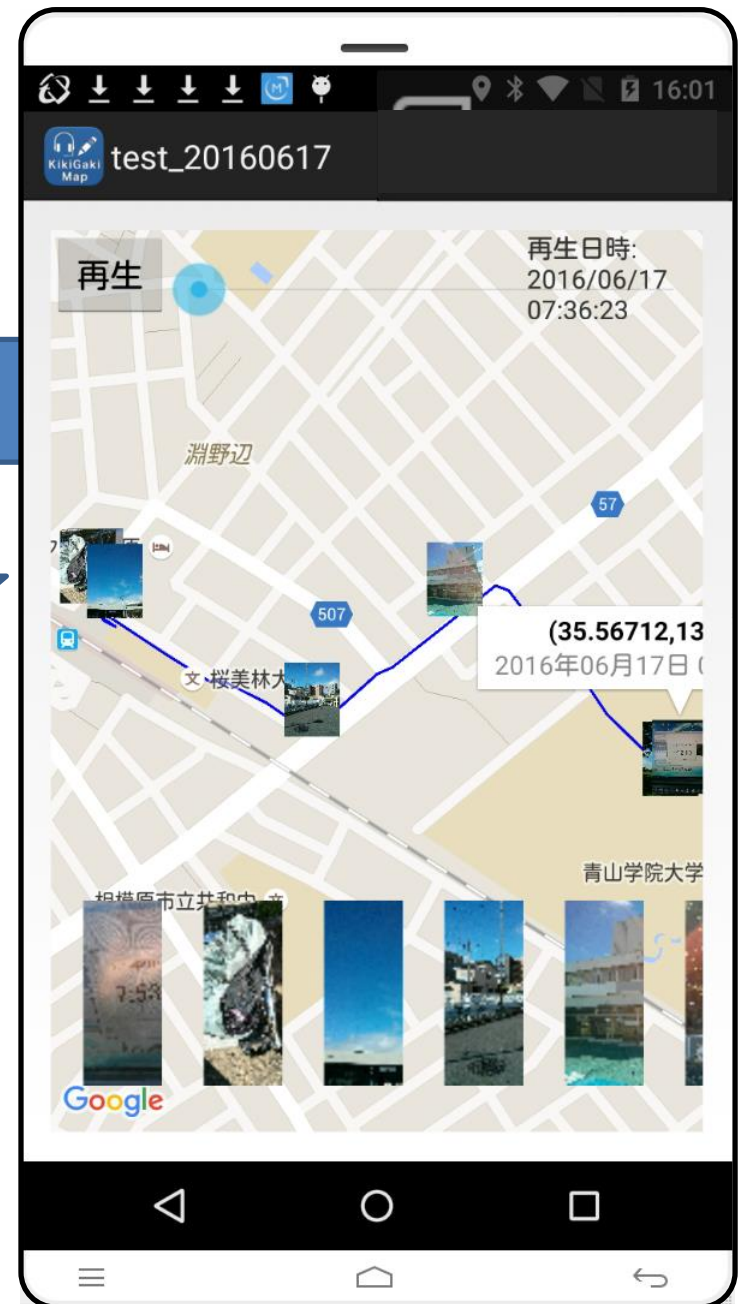
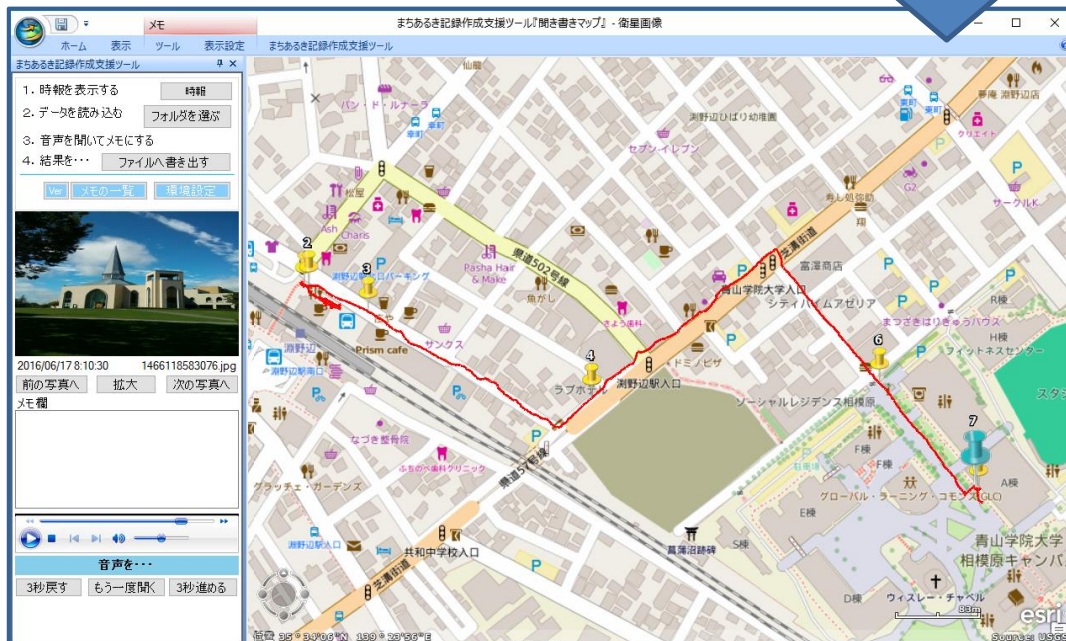


上のような起動画面が出た後、しばらく待つと、下のように『聞き書きマップ』が起動します。

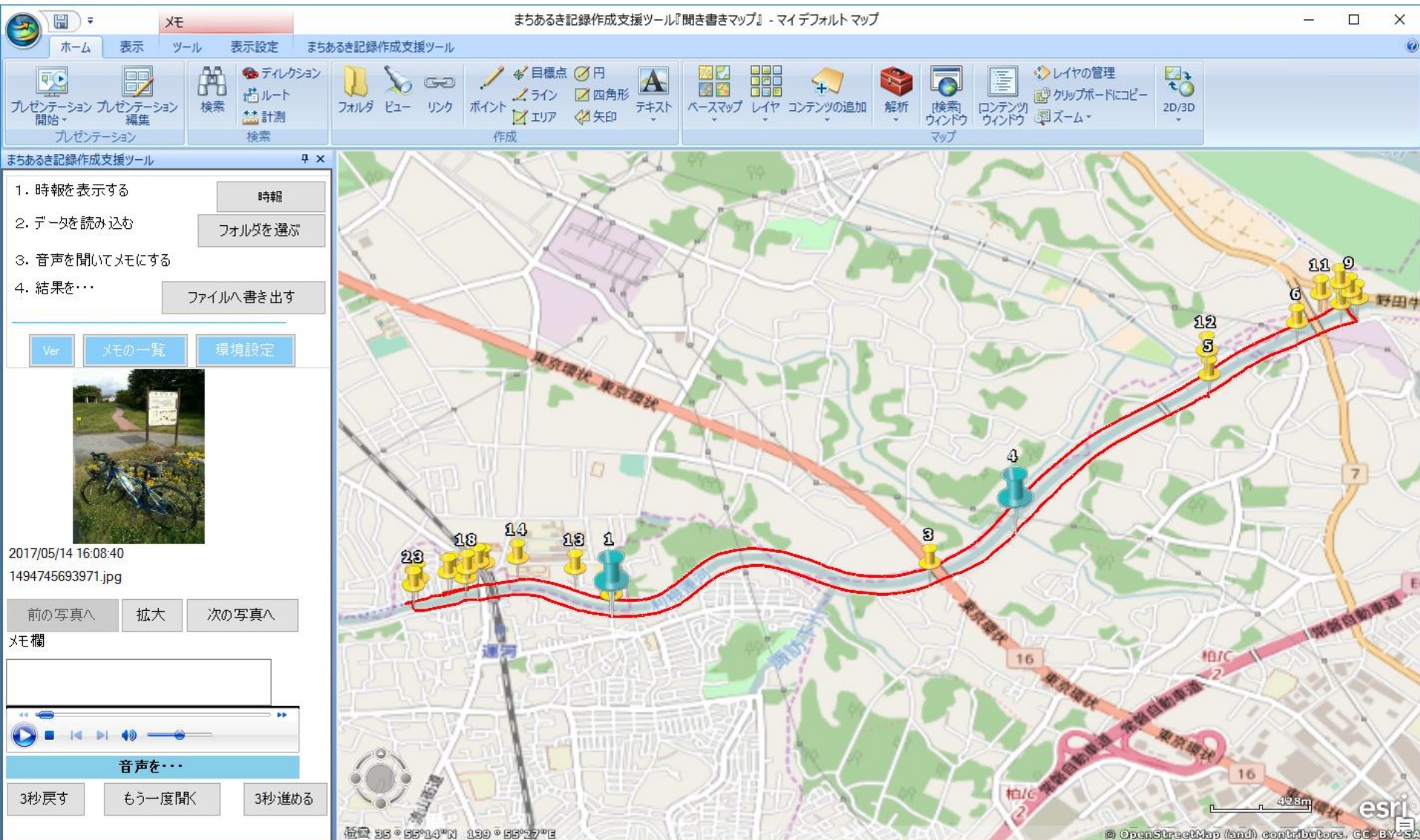


In Order to Achieve More Widespread Use...

- Developing **Smartphone** (Android OS) **Application**
 - ▶ Functionality of GPS Logger, IC Recorder, Digital Camera with a **single device**!
- Easy to **Cooperate with PC** 🎵



Test on 2017/05/14



Data taken with Android Smartphone Was successfully imported into PC-KGM